

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	東村コミュニティバス運営事業						
補 助 事 業 者 名	東村長						
実 施 場 所	東村地内						
補助事業の成果の目標	<p>東村コミュニティバスは、主に学生の通学や高齢者の生活に欠かせない移動手段であり、これまでの路線バスの運行状況や利用者からの要望等を考慮し、平成30年度より本格運行している。</p> <p>今後も安定的な運営を行うため、本事業を実施することで、村民が利用しやすい交通環境の維持を図る。</p> <p>【参考指標】 令和3年度運行実績(令和3年7月～令和4年2月) 利用者数:2,923人</p>						
補 助 事 業 の 内 容	運転手の給与 5名						
補助事業の始期及び終期	令和4年度						
事業費及び交付金額		令和4年度					計
	事業費	円 6,487,525	円	円	円	円	円 6,487,525
	交付金額	6,487,000					6,487,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 事業実施期間中の利用者数:3,920人(R4年7月～R5年2月の利用者数) 令和3年度と比較し利用者が増加しているが、本年度の後半から新型コロナウイルス感染症の影響が減少し、利用を控えていた方々が再びコミュニティバスを利用し始めたことが要因と考えている。</p> <p>バス内の消毒、マスクの着用(予備マスクの設置)、換気等を行いながらの運行により、通勤、通学等で定期的な利用者による実績が確保でき、住民が利用しやすい交通環境の維持が図られたため、本事業の成果を得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>1) 村ホームページに掲載した。 2) 村広報誌に掲載した。(3月号)</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	ルートや、時刻表等の見直しを行い、今後も村民が利用しやすい交通環境の維持に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						